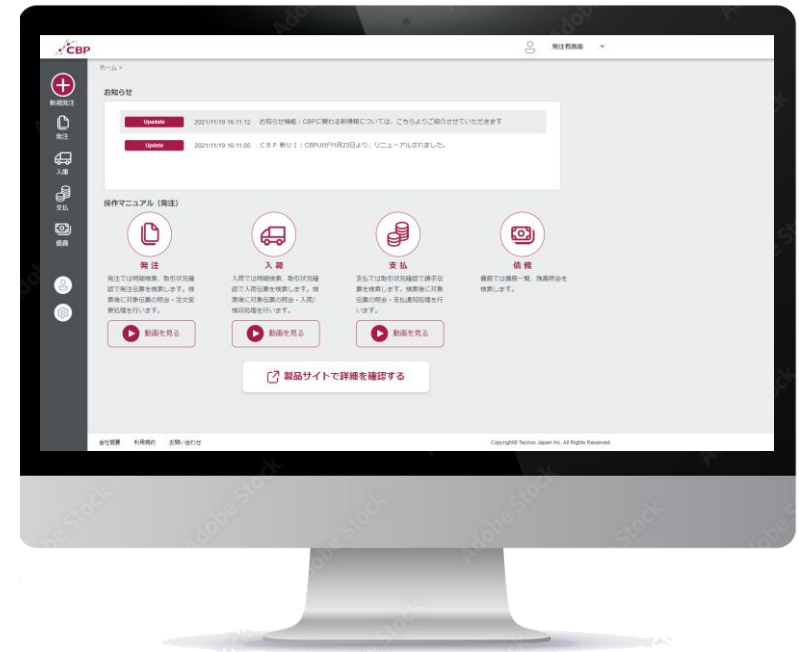


5分でわかる

CBP 注文決済サービス

サービス概要資料



01 注文決済におけるよくある課題

02 企業間をつなぐプラットフォーム「CBP」とは？

03 CBP注文決済サービス機能全体概要

04 CBPの提供する価値

05 選ばれている理由

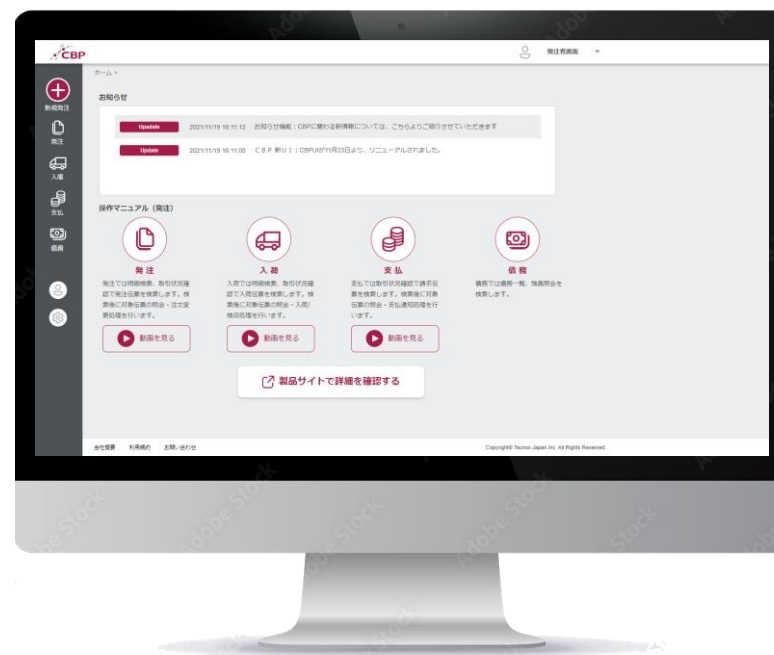
06 CBPの主な機能

07 CBP注文決済サービスの業務メリット

08 サービス比較

09 お問い合わせ

10 会社概要



注文決済におけるよくある課題

課題1

電話、Fax、メール、何種類ものEDI/Web-EDIによる受発注、
そして電子請求書…
受発注～請求まで、使うツールがバラバラで煩雑

課題2

注文した商品は予定通りに発送された？
うちの倉庫にはもう着いているのかな？
いちいち気にしたり、相手先に電話確認するのは面倒

課題3

毎月の請求金額に対していつも両社で微妙な誤差が発生、
取引事実の一つのはずなのに、なんでズレるの？？

課題4

商物流情報を相手先の状況も含めて把握できれば、生産計画や販売
計画もっと精度が上げられるのに…



解決策

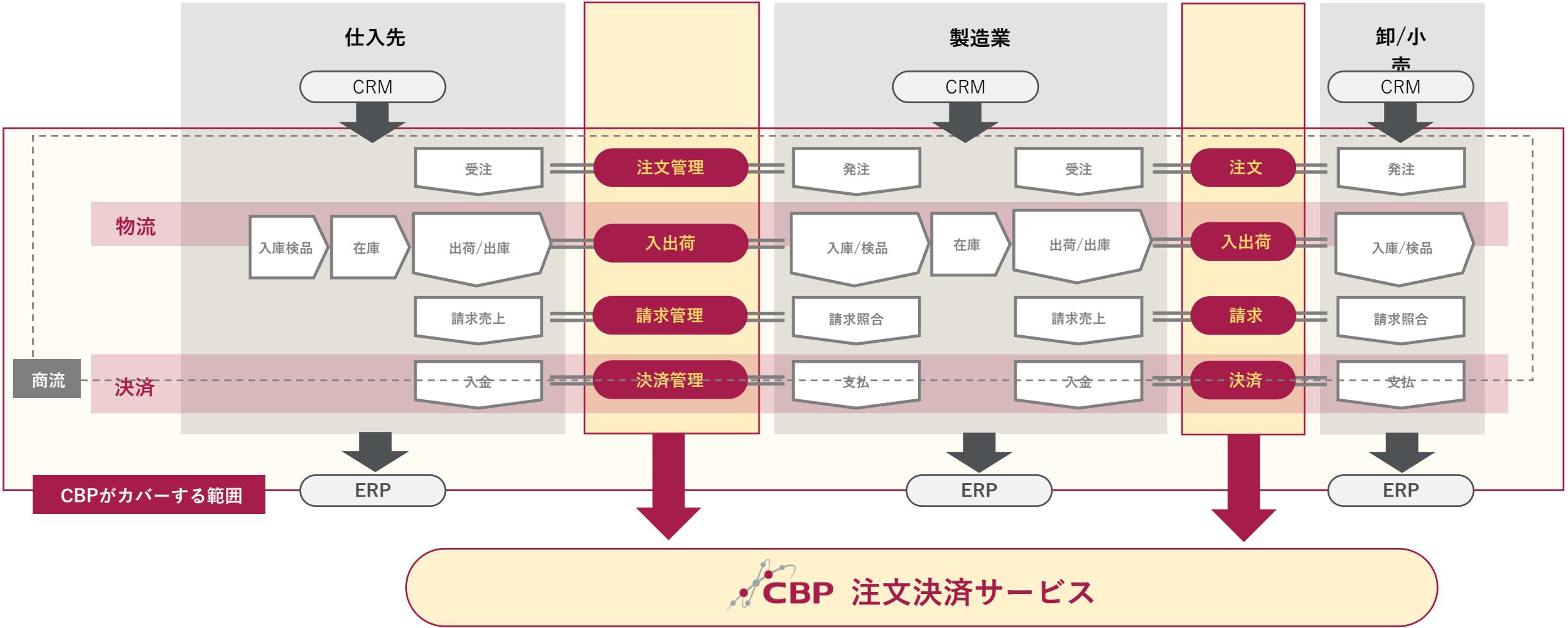
これらの課題をCBPなら一挙解決出来ます！



企業間をつなぐプラットフォーム「CBP」とは？



横軸（企業間）と縦軸（注文～決済）でデータを一気通貫で管理可能！
CBP上のサービス活用により、注文決済における業務効率化と、ERP/CRMの更なる活用を実現出来ます。





















CBPの提供する価値

△注文～支払いまでそれぞれ別のツールを使っており、
一貫したデータ統合が不可能
△手作業や確認作業工程が多く発生する



◎注文～支払まで複数企業とCBPのみで連携可能！
◎多くのツールを併用する必要がないので、工数削減！

取引	販売元	現状 (企業間でのEDI)	仕入元		販売元	CBP導入時	仕入元
注文	 企業	<ul style="list-style-type: none">・ 個別のFAX/メール/郵送書類・ 各種電話確認	 企業		 企業	<div>CBP 注文決済サービス</div> <div>注文個別Data 出庫標準Data 注文個別Data</div>	 企業
受払	 企業	<ul style="list-style-type: none">・ 納品書/受領書/検収書・ 各種電話確認	 企業		 企業	<div>出庫標準Data 検収標準Data</div>	 企業
請求	 企業	<ul style="list-style-type: none">・ 月次請求書/月次支払通知書・ 月次支払通知照合/月次請求照合を人力で作成・ 各種電話確認	 企業		 企業	<div>請求標準Data</div>	 企業
支払	 企業	<ul style="list-style-type: none">・ 振込入金・ 銀行データ・ 振込入金マッチング・ 各種電話確認	 企業		 企業	<div>支払標準Data</div>	 企業

選ばれている理由

理由1

これまで分散していた電話・FAX・各種EDI/Web-EDIの集約、受注～決済までの業務統合を実現可能

理由2

テクノスジャパンはシステム連携元であるERP/CRMに熟知しているので連携にも無駄がなく効果的

理由3

企業規模や取引量に合わせて低価格からスタートできる！

理由4

ソフトインストール不要、仕訳連携も可能だから会計ソフトしか持たない小規模企業様でも安心！

理由5

注文決済業務効率化の先を見据え、排気ロス/環境負荷の軽減に寄与できる協創プラットフォーム！



企業・人・データをつなぎ
デジタル活用を促進



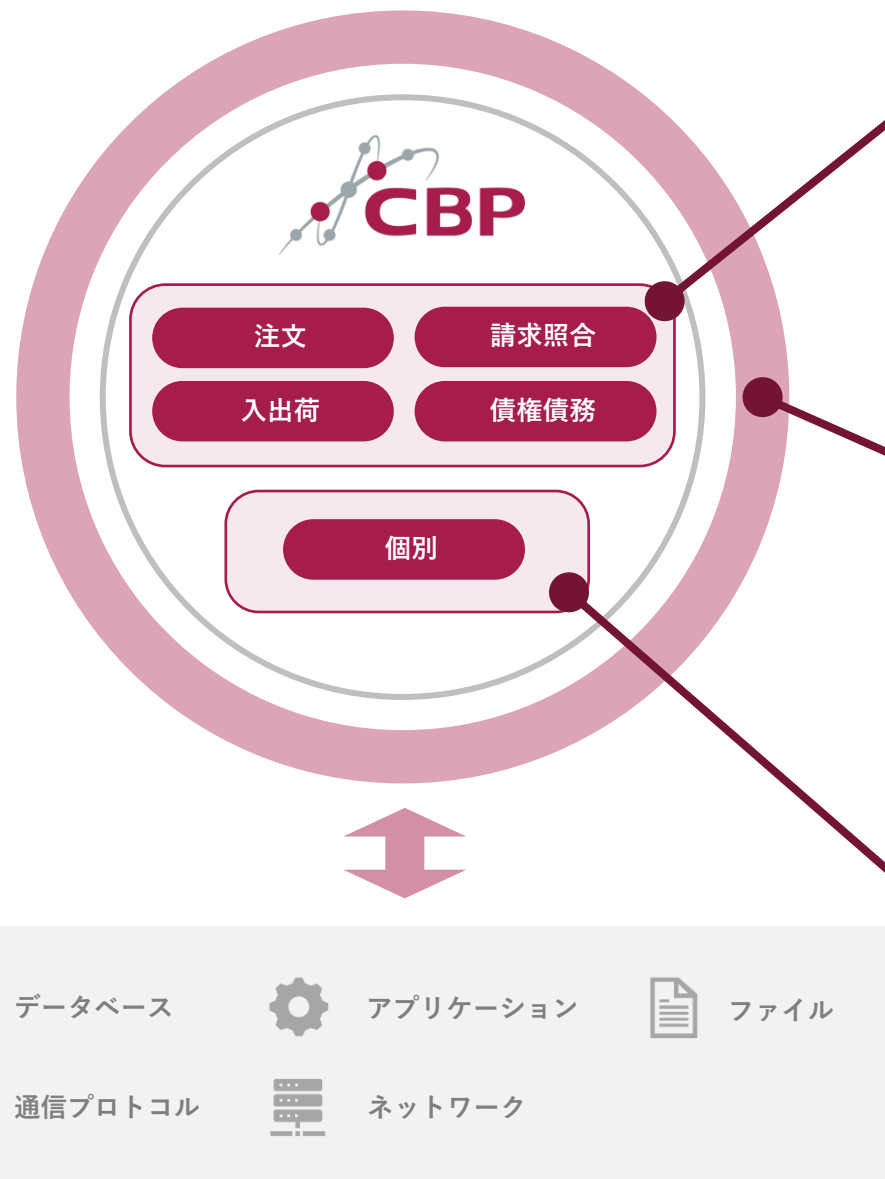
排気ロス削減

環境負荷軽減

気候変動緩和



CBPの主な機能



① 企業間の注文決済が円滑に！

■取引事実/取引過程の共有化

- ・ **取引先と共通情報**で、業務を行うことでコミュニケーションロスを削減
- ・ 複数メンバーが**事実を可視化・共有**でき、取引事実の属人化を排除

■注文～決済まで一気通貫

- ・ 取引事実（注文～入出荷～請求照合）を**企業間共通情報**として管理
- ・ 取引先の消込情報を連携し、**債権債務残高を見える化**

② 様々なデータ連携が可能！

■個々のEDI仕様の統一・集約

- ・ **中小企業共通EDI**をもとにした企業間取引の標準化フォーマット
- ・ 自社はCBPとのAPI接続「**1仕様のみ**」で連携できる
- ・ 取引先は、**既存のEDI仕様のまま**でCBPと連携することが可能

■豊富な連携アダプタ

- ・ ERP等のシステム、DB、ファイル等の連携アダプタがプリセットされている

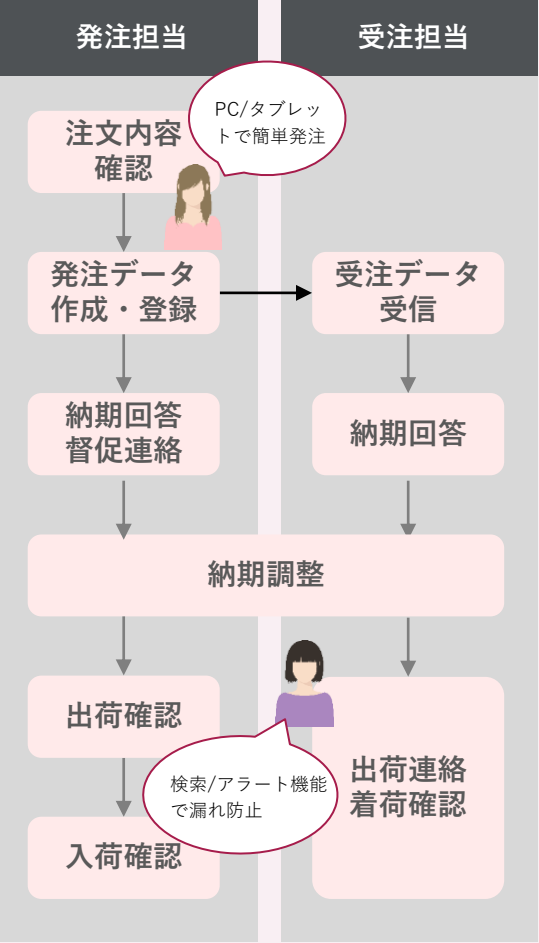
③ 情報蓄積できるプラットフォーム

■個別情報の蓄積

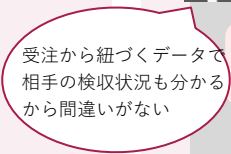
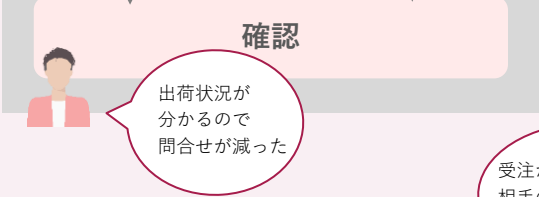
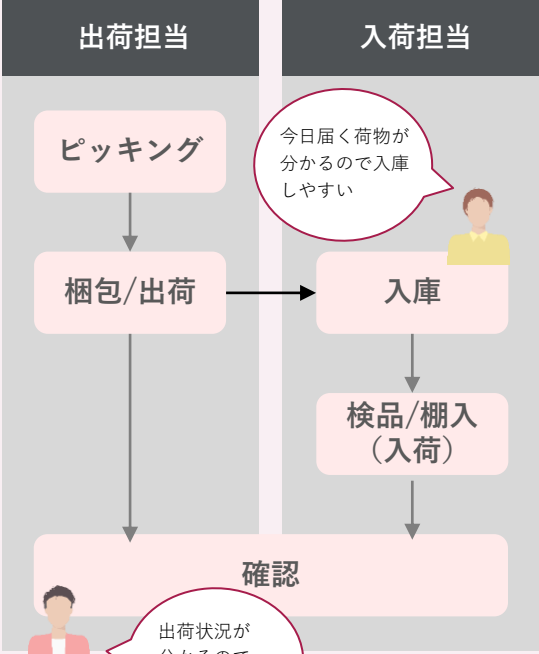
- ・ 企業間で必要な情報を個別データとして蓄積することが可能

CBP注文決済サービスの各業務メリット

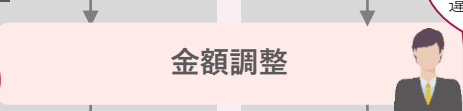
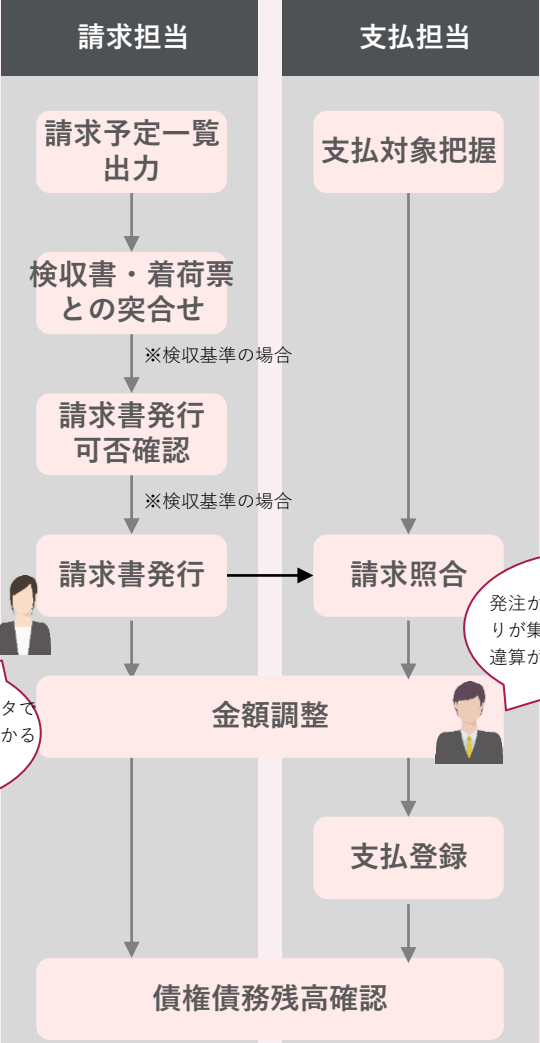
受発注



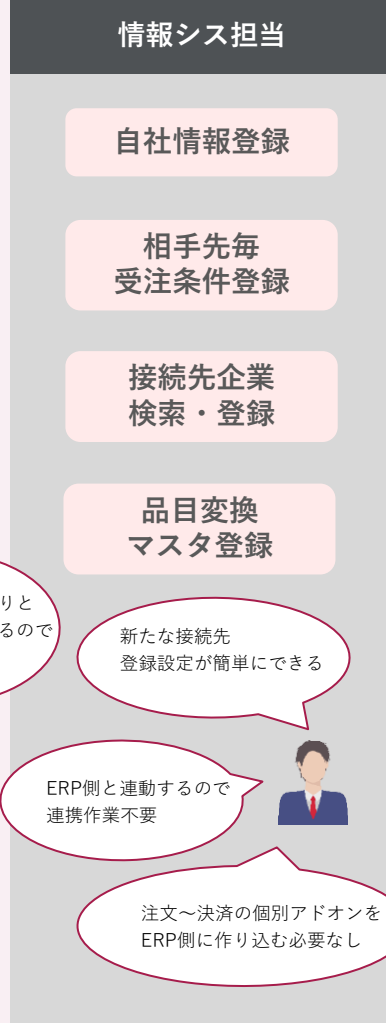
入出荷



















請求支払



システム



サービス比較

状況/項目	CBPの導入	従来型EDI	受発注Web-EDI B2Bコマース、電子請求書	アウトソーシング
業務効率	 <p>注文～決済まで一元管理可能 API/ファイル連携で手作業削減 システムがなくても利用可能</p>	 <p>注文～決済までデータ連携可能 だがあくまでデータを渡すだけで 業務効率度合いは限定的</p>	 <p>Webサービス内でやりとりはできるが、 システムとのデータ連携は手作業が多い （俗に言う多画面問題）</p>	 <p>アウトソースで効率化できる部分もあるが、 イレギュラーには対応しにくく 別途やり取りが発生</p>
接続先追加	 <p>注文～決済まで標準化されている為 マスタ設定だけで接続先追加が可能 品目マスタ変換もクラウド上で連携</p>	 <p>接続先を追加する度に通信仕様合わせが必要かつ追加開発が必要となることが多い</p>	 <p>標準化されているので追加は容易だが、 単機能サービスごとに設定が必要となる為、 全体的には煩雑</p>	 <p>連携仕様決めなども取引先だけでなく アウトソース先との調整が必要となる為、 煩雑</p>
費用	 <p>企業規模や利用データ量に合わせてスモールスタートが可能。また注文～決済まで同金額で利用できる</p>	 <p>追加接続時の導入工数が都度かかるため、 トータルで考えると大きなコスト負担となることが多い</p>	 <p>手軽に利用できるが、個々のサービスを追加で契約していくと結果的に金額が大きくなることも多い</p>	 <p>アウトソース先の人手作業となるため、 費用はシステム利用と比べ高めとなる傾向がある</p>
データの整合性と その後の活用	 <p>取引企業間で一つのデータとなるため、 整合性は保たれ、認識齟齬などを防ぐことが可能 な他、その後のデータ活用も容易</p>	 <p>あくまでデータを渡しているだけのため、 データの整合性は取り難く、その後のデータ活用は困難</p>	 <p>単機能ごとにバラバラのため、後続機能間とのデータ整合性は取り難い他、 その後のデータ活用も困難</p>	 <p>第三者による業務代行のため、 イレギュラーは個別対応となる他、 データ活用の観点からはほぼ無い</p>



注文・入出荷・請求・支払までを一気通貫
企業間取引を 標準化・最適化 するクラウドサービス

FAX/電話/郵送・紙運用
& 個別EDI/Web-EDI
が混在する世界に

さようなら

もうズレない

企業間の取引事実
は企業間で一つに
違算が起きない

基幹システム
個別アドオン/カスタマイズ
& 追加接続の

コスト削減

➡ 企業のDXを実現し、更なるデータ活用を目指すならCBP



お問い合わせはこちら






URL : <https://cbp.tecbp.com>



名称	株式会社テクノスジャパン
所在地	〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー14階
電話番号	(03) 3374-1212 (代表)
代表者	代表取締役社長 吉岡 隆
資本金	5億6252万円
事業内容	企業向け経営・業務システムにおける DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業 - 企業向けDXのコンサルティング - 基幹システム（ERP）、顧客管理システム（CRM）、 DX協調プラットフォームサービス（CBP）を組み合わせた ビジネスコンサルティング - システムグランドデザイン、要件定義、設計、開発、保守に至る 一連のシステムサービス

連結子会社	沖縄テクノス株式会社（那覇市） ブレインセラーズ・ドットコム株式会社（千代田区） Tecnos Global Company of America, Inc.（米国 カリフォルニア州） Lirik, Inc.（米国 カリフォルニア州） Lirik Software Services Canada Ltd.（カナダ） Lirik infotech pvt ltd.（インド）
-------	--

国内拠点

- **本社**
〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー14階
- **イノベーションセンター**
〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目11番2号
太陽生命日本橋ビル13階
- **中部オフィス**
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-18-25
丸の内KSビル13階
- **関西オフィス**
〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目4-16
アクア堂島NBFタワー19F
- **テクノスジャパンe-ZUKAイノベーションラボ**
〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋576-14



LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる社会の未来を切り拓く ～